

新冠町地域公共交通計画（素案）に対する意見と町の考え方について

1 結果の概要

（1）意見募集添削の期間

パブリックコメント

令和6年2月7日 ～ 令和6年2月29日

（2）提出者数 4名

（3）意見総数 6件

パブリックコメント

| 通番 | 意見の要旨 | 町の見解 |
|----|---|---|
| 1 | <p>○はっきりと分かりやすいコミュニティバスの停留所がほしい。</p> | <p>○コミュニティバスの時刻表に記載している「市街地地区」の停留所は道南バス株式会社が設置している停留所を使用し、さらには病院、歯科医院を追加し設定しております。</p> <p>なお、道南バス停留所名では場所の特定が難しいため、イメージのしやすい近隣のお店や建物の名称を掲載し、さらには近隣施設のご協力をいただきながら、時刻表の掲示も行なっております。</p> <p>ご指摘のとおり、今後は、各関係者と協議のうえ可能な限り停留所への掲示物等の設置や継続的な周知、HP 等への掲載内容の改善も含め、より分かりやすく情報収集ができればよい環境整備に努めてまいります。</p> |
| 2 | <p>○札幌行き、新千歳空港行きのバスに接続してほしい。また、帰りの便についても接続を考慮してほしい。</p> <p>○バス車両の更新を行うならエコエネルギーを利用する非化石燃料にしてはどうか。また、非化石燃料のバス車両の導入に併せ、太陽光、風力、地熱、温泉、バイオ発電又は水素工場を建設してはどうか。</p> | <p>○今後の運行形態や運行方式の見直しにおいて、幹線系統との密接な接続と、待ち時間の解消は重要なポイントであると理解しておりますので、できるだけ配慮した運行形態を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、バス車両の更新については本計画（素案）に記載のあるとおり、環境配慮型の車両導入も視野に入れ検討を進めます。昨今、様々な機能を持つ車両がある中で、運行の利便性を損なうことなく、当町の運行形態にて最大の効果が発揮される車両の導入に向けても協議検討を進めてまいります。</p> <p>○再生可能エネルギーに関する事業については、ゼロカーボン施策の促進、導入に向け、国や道から各自治体に地球温暖化対策計画の策定に向けたガイドラインが示されています。</p> <p>今後、計画の策定の検討を進める中で、町内施設における新エネルギー施設の導入の可能性としてハード・ソフト面における費用対効果の検証も必要となることから、慎重に調査、協議を進めてまいりたいと考えております。（回答者：総務課、町民生活課）</p> |
| 3 | <p>○現行のコミュニティバスとハイヤーを組み合わせレ・コード館や役場あるいは生活館などを大きなバス停と位置づけ、バス停まではハイヤーを利用頂くということはどうか。</p> <p>○新ひだか町方面の医療機関送迎便は乗車人数が少ないため、曜日を絞り、その分増便するのはどうか。（診察は時間通りにいかないことが多い。）</p> <p>病院が運行している送迎バスは利用者が曜日で違うので、その都度、ルートを組み立て前日に自宅に迎えに行く時間を知らせている。これは同じ場所に同じ時間に集まるために出来る方法ですが、参考にしてはどうか。</p> | <p>○本計画においては町内全域の運行形態の見直しが急務と位置付けており、計画内容に沿って、現状の運行時刻や運行便数、さらには運行方法の再編を進めてまいります。</p> <p>今回頂きました意見についても参考意見とさせて頂きながら、利用ニーズに沿った町内全域の公共交通の検討を進めてまいります。</p> |
| 4 | <p>○連絡をすれば自宅付近まで乗上をしてくれる交通機関を希望する。</p> | |